

令和2年 12月23日

三条市長

滝沢 亮 様

三条市議会公明党議員団 野崎正志
 笹川信子

令和3年度予算要望書

まもなく新年を迎えようとしている今日、新型コロナウイルス感染症のワクチン投与が始まった国もありますが、世界経済はいまだ回復の糸口を見いだせない状況にあります。日本においても、予防ワクチンに期待を寄せながら、具体策を模索している段階といえます。現在、国では第3次補正予算を含めた来年度の予算が検討されています。

三条市において、4月の三条市立大学の開学、図書館等複合施設の建設、県央基幹病院の建設といった長年の懸案事項が形になりつつあります。しかし、同時に財政的見通しは楽観視できないものと懸念も生じています。

令和3年度予算編成に際して、ウイズ・アフターコロナを見据えた「新しい日常」を構築していく中で、市民が生活の豊かさを実感できる「質」の高い持続的な行政サービスを目指した予算編成を強く要望いたします。三条市議会公明党議員団は、ここに令和3年度予算要望書を提出いたします。

重点要望項目

- 新型コロナウイルス感染症予防対策の強化推進
- 行政のデジタル化の推進体制の強化
- SDGs を考慮した政策の構築推進
- ウイズコロナ社会を前提とした避難所の環境整備強化
- 子育て支援の充実で包括的な支援体制の構築
- スクールサポートスタッフの更なる確保で教育環境の構築
- 若者が集いやすく、活動できる環境の整備
- 認知症施策推進大綱を踏まえた認知症対策の拡充
- 地域の歴史・文化・芸術活動への支援
- 中小企業、小規模事業者のデジタル技術活用のサポート支援
- 再生可能エネルギーの活用の推進